

羽田小学校学校経営方針

R 3.4 羽田小学校校長 笹間 伸也



<教育目標>

- いのちをだいじにする子
- こころをだいじにする子
- べんきょうをだいじにする子

<おおた教育ビジョン>

- ・未来社会を創造的に生きる子ども育成
- ・学力の向上
- ・豊かな心の育成
- ・体力の向上と健康の増進
- ・魅力ある教育環境づくり
- ・学校・家庭・地域が一体となつてともにすすめる教育

- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律
- ・学習指導要領
- ・都の施策

【目指す学校像】

- 子どもが、学び合い 支え合い 高め合い 自他の良さを実感できる学校
- 教職員が、児童の成長を考え 互いに学び合い 支え合い 高め合う学校
- 地域や保護者が、児童のより良い成長を共に考え 実現していく学校

子どもも大人も「学び合い 支え合い 高め合える」学校

- 【3年度重点】・(こころ) 挨拶を自らできる力(気持ちと実践力)の醸成
- ・(べんきょう) よりよいかかわり合いを築く言語能力の育成
 - ・(いのち) よさや可能性を伸ばす自己肯定感や自己有用感の向上

子どもが、学び合い 支え合い 高め合い 自他の良さを実感できる学校にするために

- ① 人権教育推進校の指定を生かした人間力(知的能力的、社会・人間関係的、自己制御的な総合力)を高める教育の推進
- ② 問題解決的な学習展開(発見学習・先行学習)による相互啓発のある授業の確立
ー思考、交流、表現、活用
- ③ 児童の人間形成、社会参画、自己実現を図る、特別活動、キャリア教育の推進
- ④ 自ら運動に親しもうとする体育・健康教育の推進
ー外遊び、持久力向上、一校一取組

教職員が、児童の成長を考え 互いに学び合い 支え合い 高め合う学校にするために

- ① 「学び続ける教師」を推進
ー研究授業、校内研修、伝達講習、特別支援教育(サポートルーム拠点校の活用)
- ② 教員としての意識を高める取組の推進
ーサービス事故防止研修、外部との連携・折衝力向上研修、人権感覚向上研修
- ③ 働き方改革及び自己管理能力の推進
ー人材活用・組織見直しによる校務軽減、勤務時間短縮・休暇取得推進日の設定

地域や保護者が、児童のより良い成長を共に考え 実現をしていく学校

- ① 子どもが安心できる教育環境の構築
ーあいさつの励行、育てたい力の「共育」、見守り活動
- ② 地域人材、地域施設の活用
ースクールサポートHANEDAとの連携、羽田空港、地域産業、伝統施設との連携
- ③ 魅力ある教育活動の推進・発信
ー人権教育推進校研究発表、学校行事の精選・充実、ホームページの定期更新

【目指す児童像】

- 人間力の向上に向けて 「自分も相手も大切にすることができる児童」
・児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」 → 肯定的回答が90%以上 【令和2年度は、82パーセント】
- 学力向上に向けて 「自ら考え、伝えあうことができる児童」
・児童アンケート「授業中に自分の考えや感じたことを友達に伝えている。」 → 肯定的回答が80%以上 【令和2年度は、79パーセント】
- 健康増進・体力向上に向けて 「自分の心身に関心を持ち、高めることができる児童」
・持久走の個人内記録 → 個人内記録を更新した児童が90%以上